

福祉科（介護福祉基礎）学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 2単位
- 2 実施日時 令和7年 月 日（ ）
- 3 学級 HR 科（ 名）
- 4 使用教科書 介護福祉基礎（実教出版）
- 5 単元名 第5章 介護福祉サービスの概要
- 6 単元設定の理由

- ① 教材観・・・本単元を含む指導項目では、「サービス利用者の地域生活における具体的な状況や課題とニーズについて理解するとともに、地域とのつながりや役割などの関係性、サービス利用者を支える介護福祉サービスの概要などについて理解できるようにすること」（学習指導要領解説）をねらいとしている。日本は世界でも類を見ない速さで高齢化が進行しており、介護を必要とする高齢者の増加に伴い、介護福祉サービスの重要性がますます高まっている。介護福祉士を目指す生徒が、介護福祉サービスの制度や種類、その仕組みを体系的に理解することによって、現場での実践力の基礎を身に付けることができるようにする。
- ② 生徒観・・・本学年の生徒は、介護福祉士を目指して福祉に関する学習を続けており、基礎的な介護の知識やコミュニケーション技術について一定の理解を深めてきている。一方で、「介護保険制度」や「介護サービスの種類」といった制度的・組織的な内容は抽象的でイメージしづらく、苦手意識を持つ生徒も多い。本単元では、具体的な事例や身近な場面と制度を関連づけて学ぶことで、生徒が制度を自分ごととして捉え、福祉の専門職としての視点を育むことを目指す。
- ③ 指導観・・・1年次で既習の「社会福祉基礎」の「介護福祉制度の背景や概要」についての学習内容をもとに、本単元では、介護保険制度の基本構造を理解し、実際にどのようなサービスがどのような形で提供されているかを学ぶことで、支援の全体像をつかむことが必要である。また、介護福祉士として利用者に最適なサービスを選択・提案するために、制度の知識だけでなく、役割や課題を踏まえ、各サービスの特徴や適応状況について、生徒が柔軟に考察できるよう、視覚的資料や具体的事例、グループワーク等を取り入れた指導を工夫する。

7 単元の目標

- (1) 介護を必要とする人の生活状況や介護福祉サービスなどについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- (2) 介護を必要とする人の状況や介護福祉サービスについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 介護を必要とする人の生活状況や介護福祉サービスについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

8 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
介護を必要とする人の生活状況や介護福祉サービスなどについて理解するとともに、関連する技術を身につけている。	介護を必要とする人の状況や介護福祉サービスについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	介護を必要とする人の生活状況や介護福祉サービスについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

9 指導と評価の計画（全5時間）

- 第1次 介護サービスの利用方法 1時間（本時）
- 第2次 介護サービスの場の特性（在宅）（居宅介護）（地域密着型） . . 2時間
- 第3次 介護サービスの場の特性（施設）（施設サービス） 1時間
- 第4次 障害者支援サービス・障害者支援サービスの実際 1時間

時間	ねらい・学習活動	評価		評価規準 [評価方法]
		観点	記録	
1	介護保険制度の目的とサービス利用の流れについて理解した内容を記入する。	知	○	・介護保険制度の目的とサービス利用の流れについて理解し、適切に記述している。 [ワークシート]
2	介護保険制度における居宅サービスの役割について理解し、在宅介護の課題について考えたことをグループで話し合い、まとめた内容を発表する。	知	○	・居宅サービスの役割について理解し、適切に記述している。 [ワークシート]
3		思	○	・在宅介護の課題について粘り強く考察し、協働的に学び合おうとしている。 [ワークシート]
4	施設サービスの利用者の状況と施設サービスの役割について理解した内容を記入する。	知	○	・施設サービスの役割について理解し、適切に記述している [ワークシート]
5	障害者総合支援法におけるサービスの概要とサービスの利用手続きについて理解し、実践についてグループで話し合い、まとめた内容を発表する。	知	○	・障害者総合支援法におけるサービスの概要について理解し、適切に記述している。 [ワークシート]
		態	○	・障害者サービスの利用手続きを踏まえ、自らが実践できる行動について提案している。 [観察・発表]

10 本 時

(1) 目 標

介護保険制度の目的と、サービス利用の流れについて理解する。

(2) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 10分	介護保険制度の既習内容について確認する。	介護保険制度について理解度を確認する。(介護度・サービス等)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 介護保険制度の目的・サービス利用の流れを理解しよう。 </div>				
展開 35分	介護保険制度の目的と概要を知る。	介護保険制度の目的と概要について説明する。		
	介護保険制度の被保険者や要介護認定について知る。 デイサービス利用希望の設定事例(①60歳男性 ②80歳女性)ごとに、MetaMoJi ClassRoomを活用して介護保険制度活用の流れを整理する。 グループで話し合った内容をまとめ、発表する。 介護保険利用までの正しい手続きの流れを確認する。	介護保険制度の被保険者や要介護認定について説明し、介護保険制度の必要性を伝える。 デイサービス利用希望の設定事例を伝え、MetaMoJi ClassRoomを活用して介護保険制度活用の流れを整理させる。 グループで意見交換させ、発表させる。(設定事例の利用者が介護サービスを利用開始できることを確認する。) 生徒の発表をもとに、図表等を用いて介護保険利用までの手続きを説明する。	介護保険制度の目的とサービス利用の流れを理解している(知識・技術)	ワークシート
	まとめ 5分	本時の学びを振り返りワークシートにまとめ記入する。	生徒の気づきや疑問を共有し、介護保険制度の必要性を確認して、次時の予告をする。	介護保険制度のサービス利用までの流れを理解している(知識・技術)

(3) 評価及び指導の例

A	十分満足できる	介護保険制度の目的とサービス利用の流れを十分理解して、介護保険制度（要介護認定、給付の種類など）について専門用語を適切に用いて説明し、適切なサービスを選択している。
B	おおむね満足できる	介護保険制度の目的とサービス利用の流れを理解している。
C	B を満たさない生徒への具体的な手立て	基本的な制度やサービスについてフローチャートを使用して確認させ、介護保険制度の目的とサービス利用の流れを理解するよう支援する。